

授業科目名	中国語Ⅱ(日常会話 - 中級)	担当教員	呉宝珠
選択	開講年次：1年後期	単位：1単位	授業形態：演習 30時間

【授業概要】

中国語Ⅰに続いて、中国の経済、ヘルスケア、社会問題に関する知識を高めることによって中国に関する理解を深め、中国人と会話することによって日常の言語の読み、書き、会話の能力を向上する機会を持つ。

【授業目的・目標】

1. 中国の経済、ヘルスケア、社会問題について話し合う。
2. 中国人との中国語会話をする。
3. 中国語の読みかたと発音が正しくできる。

【履修条件】

「中国語Ⅰ(日常会話一初級)」を 修得していること

【授業計画】

- [01] あなたは中国人ですか
- [02] 健康保険証を持っていますか (1)
- [03] 健康保険証を持っていますか (2)
- [04] 家族にはどんな人がいますか
- [05] あそこで少しお待ちください
- [06] 少し話せます
- [07] 検査室に行って検査をしてください (1)
- [08] 検査室に行って検査をしてください (2)
- [09] どうしましたか
- [10] 口を開けてください
- [11] この薬を飲んだことがありますか
- [12] 服をあそこに置いてください (1)
- [13] 服をあそこに置いてください (2)
- [14] 病状はずっと良くなりました (1)
- [15] 病状はずっと良くなりました (2)

【教科書】

山田真一著 (2009) 医療系学生のための初級中国語, 白帝社

【参考書】

特になし

【評価方法・評価基準】

筆記テスト (80%)、授業中小テスト (発表) × 5回 (20%)。

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：授業時に提示された事前予習の記述を行うこと。

事後学習：講義資料を基に学習内容の復習、課題の記述を行うこと。

【教育目標 (必須要素) との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅰ. 教養教育で培う普遍的基礎能力、Ⅶ. 国際的視野の育成と地域貢献能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

筆記試験、授業中小テストについては次の授業時に纏め説明した上で返す。

【備考】

授業内容と合わせて常に中国の病院の事情、診査システムなどを紹介する